

## 平成19年度地域活性化活動助成の選考結果

(財)北海道開発協会 会長 小林 好宏

当協会では、21世紀の北海道開発を推進する、地域自らの発想による地域づくりを支援するため、平成19年度の地域活性化活動助成の対象となる活動を、平成18年12月1日から19年4月30日までの間、道内の非営利の市民団体を対象として公募しました。

これに対し、本年は道内各団体から23件の応募をいただきました。応募された活動の内容は、地域おこし、まちづくりを中心に観光、農業、商品開発、教育関連など多岐にわたっており、さまざまな活動に地域の人々が精力的に取り組まれていることがわかりました。

これらの活動内容について、厳正な審査を行った結果、去る6月5日、下記の8件を選考しました。

当協会では今後とも本地域活性化活動助成を続けていく予定です。平成20年度については、本年11月1日にホームページに募集要領を、「開発こうほう」11、12月号に募集広告を掲載する予定です。皆様方のご応募を期待しています。

### 平成19年度地域活性化活動助成団体及び活動内容

団体名	所在地	活動内容の概要
NPO法人アート チャレンジ滝川	滝川市	<b>芸術公園都市づくり推進活動</b> 都市と歴史と文化を読み解きながらアートやデザインの力により中心市街地に魅力溢れる再生空間を地域の共有財産（実業系高校生や住民との協働事業による取り組み）として創りあげる事業プログラムの作成を行う。
アグリション21	札幌市	<b>親子農業体験ほたるの里に親戚づくり</b> 都市と農村との交流を農業体験の場だけで終わらせず、農業者家族全員と親戚づきあいをすることで地域文化に触れる機会を持ち、環境保全、人的交流など、都市住民として農業を継続的に支え、共生する意識を育てる。
シーニックバイウエイ北海道候補ルート十勝平野・山麓ルート	鹿追町	<b>道とみち、町と町、現在と未来をつなぐ滞在型観光推進プロジェクト</b> 1 エリア（5町広域）の情報（アクティビティ施設、宿泊施設、飲食店）を掲載したパンフレットの制作販売をする。 2 地域活動団体による地域資源の利用方法の検討を目的としたWSを開催し、道央圏をターゲットとしたモニタープランの提供を行う。

<p>NPO法人はこだて街なかプロジェクト</p>	<p>函館市</p>	<p><b>函館（西部地区）の歴史を語る建物・街並みマップ作成活動</b>          函館（西部地区）の観光パンフレットに掲載されていない函館の街の歴史を建物を通して市民、来訪者に知ってもらうためのマップ作りを二カ年かけて行う。</p>
<p>稚内のみなとを考える女性ネットワーク</p>	<p>稚内市</p>	<p><b>WAKKANAIみなとコンサート2007</b>          北海道遺産である稚内港北防波堤ドームの音響効果に着目し、ここを舞台に稚内で活動する音楽家による野外コンサートを開催する。市民が港に集う楽しさを演出しながら、誇りを持って生活できるよう地域を励ましていく。</p>
<p>八剣山発見隊</p>	<p>札幌市</p>	<p><b>イベント企画実践講座を核に国際交流</b>          中国、韓国の留学生を核に、広く留学生及び一般市民をつのり、農家を含む地域住民との交流を図りながら、まちおこしへつなげる国際交流事業を展開し、地域を活性化させる。</p>
<p>NPO法人 風のがっこう稚内</p>	<p>稚内市</p>	<p><b>地材地消と協働の子どもの森のログハウスづくり</b>          現在、高圧電線保護のため伐採された地元の木材を利用し、「風のがっこう稚内」の活動拠点を市民協働で建設中。この建設の経験を生かし子どもの生きる力の向上を目指すボランティア団体「おもしろ探検隊」にログハウスを贈る計画。材料は探検隊計画の「7つの森」の既伐採の地元材を利用し、ベテランのログビルダーが指導する予定であり、この協働作業を通じて人的交流がはかられ、地元産材の利用促進と観光客、来訪者の増加をはかることを目的とする。</p>
<p>北海道木質バイオマス研究会</p>	<p>北見市</p>	<p><b>ペレット市民会議</b>          地球温暖化抑制の観点からも、家庭用エネルギー消費量抑制が求められている。特に北海道では住宅の年間エネルギーが本州の1.8倍というデータもあり、その8割が灯油に依存している。カーボンニュートラルな灯油代替燃料としての木質バイオマスの道内での普及促進を図るため、第1回ペレット市民会議を立ち上げ、学術会議でもあり、国際見本市にもする芽を育てるために開催する。</p>